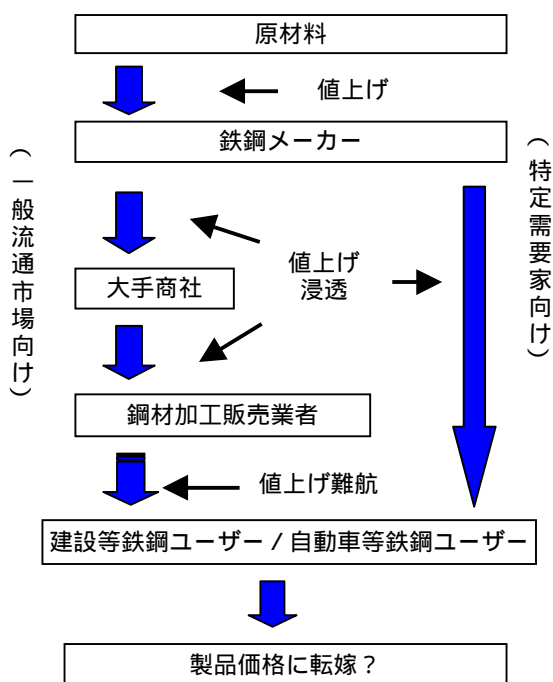




素材産業における価格上昇とその影響（鉄鋼）

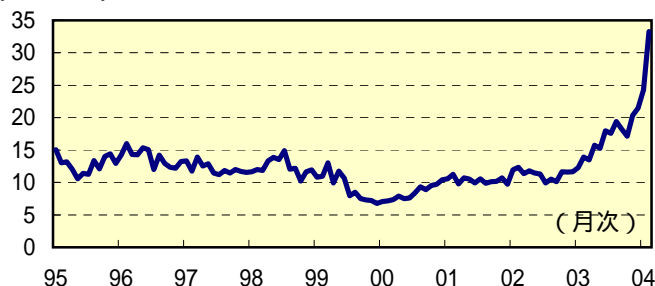
- ・鉄鋼の流通経路は、鉄鋼メーカー 大手商社 鋼材加工販売業者 鉄鋼ユーザーの一般流通市場向けと、鉄鋼メーカー 鉄鋼ユーザーの特定需要家向けの2つに分かれる。現在は、鉄鋼メーカーから特定需要家向けへの価格転嫁は進んでいるようであるが、一般流通市場向けのうち鋼材加工販売業者から鉄鋼ユーザーへは値上げが難航している様子である。
- ・原料価格をしてみると、コークス価格は、中国需要旺盛を理由に価格が高騰している。鉄スクラップ価格も、足元で下落しているが、中国要因等により上昇傾向にある。
- ・鉄スクラップ価格の高騰により、特に、H型鋼の国内価格が高騰している。また、適正在庫水準に近づいてきた熱延鋼板の価格も足元で上がっている。国内鉄鋼メーカーは、国内価格を国際価格に近づけるため、価格交渉を進めている。

図表1 鉄鋼業における価格転嫁の状況



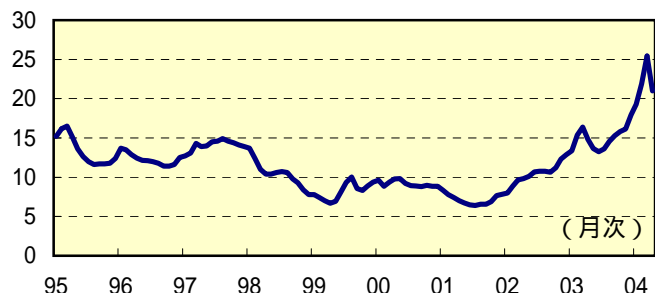
(備考) 日本経済新聞により作成。

(千円/t) 図表2 コークス輸入価格



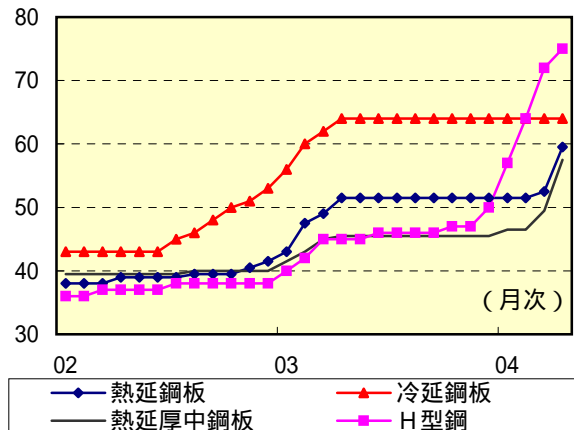
(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。
2. 全世界からの輸入価額と輸入数量より算出。

(千円/t) 図表3 鉄スクラップ国内価格



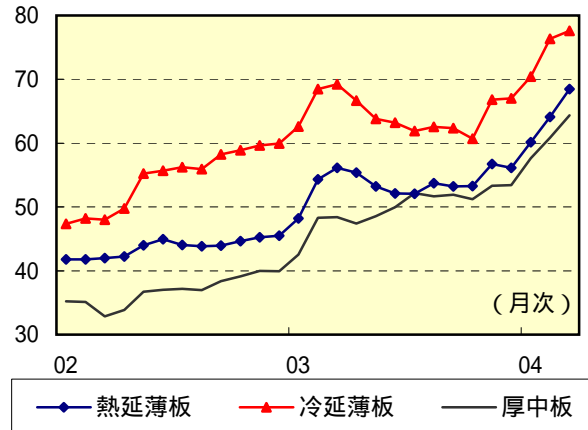
(備考) 1. (社)日本鉄源協会モニター調査により作成。
2. メーカー炉前価格。

(千円/t) 図表4 国内商品価格推移



(備考) (社)日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給統計月報」により作成。

(千円/t) 図表5 中国商品価格推移



(備考) 1. 中国物資価格情報により作成。
2. 北京・天津など全国18地区鋼材市場の平均値。
3. 1元 = 14円で計算。

[調査部(産業調査担当) 國見 真通]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

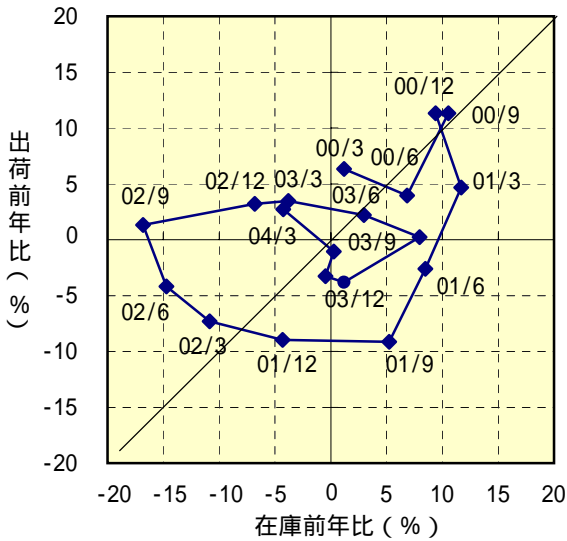
Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp

素材産業における価格上昇とその影響（鉄鋼）

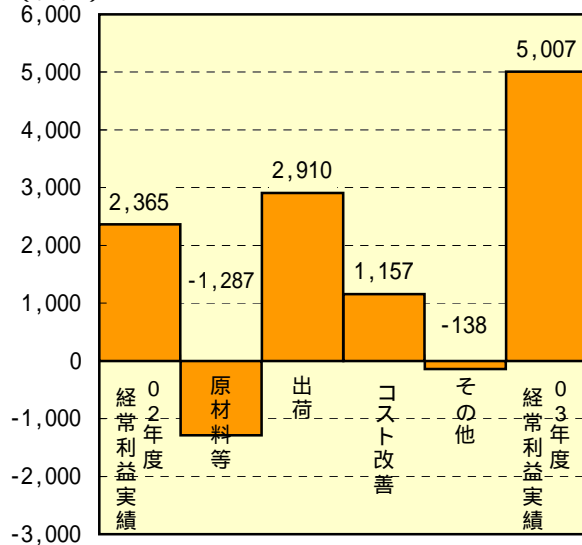
- ・普通鋼の在庫循環を見ると、00～01年のサイクルでは、在庫増加が21ヵ月間続いたが、03年の局面では8ヵ月間となっており、価格を維持、上昇させるための鉄鋼メーカーの努力の姿勢が伺える。
- ・価格維持の姿勢もあり、原材料価格高騰の減益要因は、単価アップ、出荷数量増、コスト改善で吸収できている。来年度もこの傾向が続くと鉄鋼メーカーは強気の姿勢を崩していない。
- ・需給バランスを見ると、中国、東南アジアで需給ギャップが生じており、日本、欧州、ロシア等の国で、需給ギャップを埋める状況が続いている。
- ・今後の経営戦略を見ると、鉄鋼メーカーは、海外原材料メーカーとの包括的提携を含め、原材料の安定的確保を図るとともに、国内鉄鋼ユーザーには安定供給を前提とした慎重な値上げ交渉を行っていく姿勢が見られる。

図表6 普通鋼国内在庫循環図



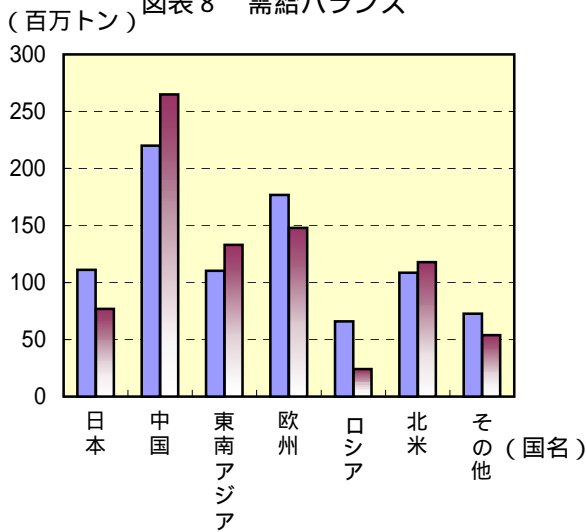
(備考) (社)日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給統計月報」により作成。

図表7 高炉4社の連結経常利益



(備考) 高炉メーカー4社の決算説明資料により作成。

図表8 需給バランス



■ 2003年粗鋼生産見通し □ 2003年鋼材見掛消費見通し

(備考) 1. (社)日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給統計月報」及び「世界主要国の2004年鉄鋼需要見通し」により作成。
2. 調査対象国は日本を含む25カ国。

図表9 鉄鋼メーカーの今後の戦略

原材料	<ul style="list-style-type: none"> 大手サプライヤーとの包括的契約による関係強化 コークス炉に追加能力増強投資 原材料安価品活用
国内戦略	<ul style="list-style-type: none"> 値上げには慎重な姿勢を保ちながらも、粘り強く価格交渉を行う 安定供給の姿勢を保ち、ユーザーとの信頼関係を築く
海外戦略	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値中心の商品戦略 需要旺盛な中国・東南アジアを中心にマーケットの維持・拡大

[調査部(産業調査担当) 國見 寛通]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp